

自然環境教育研究所報告

発行：創 価 学 園
自然環境教育研究所
TEL 042-345-0011
FAX 042-345-0289

サマーセミナーを各地で実施 —平和と共生の心を育む 自然との触れ合い—

関西創価小学校

豊岡・神鍋コース

琵琶湖・伊吹山コース

7月23日(水)から25日(金)の2泊3日で、サマーセミナーが行われ6年生が参加した。セミナーは、豊岡・神鍋方面と琵琶湖・伊吹山方面の2コース。豊かな自然の中で、観察や地域の人との交流を通して、人と環境の特色ある関わりを、学ぶことができた。セミナーを通じて、地球規模の環境保護の問題も、身近な生活の中での変化を敏感に察知し、小さなことから取り組むという意識の大切さを理解することができた。



兵庫県豊岡市にあるコウノトリの郷公園では、絶滅したコウノトリの野生復帰に取り組んで来られた様子や地域ぐるみのより良い自然環境作りへの努力などを学んだ。また、神鍋高原を中心に行ったフィールドワークでは、豊かな自然に触れることができ、子どもたちは、驚きと感動の連続であった。講師の先生方も自然を通していろいろな体験をさせてくださり、自然の素晴らしさや生きものが互いに関連しあって生きていることを分かりやすく教えてくださった。



神鍋高原でのフィールドワーク



伊吹山山頂で高山植物の観察

滋賀県米原市にある「伊吹山資料館」では、伊吹山の歴史について学習するとともに、わらを編んだり、きなこや勾玉作りをしたりして普段できないことを体験した。また、講師の案内で伊吹山山頂の高山植物の生態を観察。琵琶湖水鳥・湿地センターでは、琵琶湖に生息する野鳥のバードウォッチングなど行い、充実したセミナーになった。



東京創価小学校 箱根コース 山中湖コース



箱根フィールドでの観察



忍野八海で湧水を観察（山中湖フィールド）

7月22日（火）から24日（木）の2泊3日で、山中湖サマーセミナーと箱根サマーセミナーが行われ、6年生が参加した。

山中湖フィールドでは、1日目は、富士山頂が勇姿を現し子どもたちを歓迎。5合目では高山植物の観察や、麓にある環境科学研究所で溶岩樹形や生態観察園で動植物の学習をした。さらに「創立者と山梨」について学んだ。2日目は、大出山での高原植物観察に続き、山中湖水のプランク

トンを採取し顕微鏡で観察した。3日目には、忍野八海で富士山の湧水について現地学習をし、淡水魚について学んだ。

箱根フィールドでは、1日目の箱根火山の学習で子どもたちは大興奮。ロープウェーで眼下に見た大涌谷の白い噴煙に実際に近づき、石を割って黄色い硫黄の固まりを手にしたたり、温泉の小川に手を入れたり、温泉黒卵を食べてみたりと、五感をフルに使って地球のエネルギーを学んだ。2日目は自然探勝歩道で高原植物を観察。



芦ノ湖での自然観察

更に「創立者と箱根」について学んだ。3日目は、箱根やすらぎの森で動物や昆虫などの学習をした。山中湖、箱根の両フィールドともに、参加した6年生一人ひとりが自身のテーマを決めて、現地学習をしたことを環境新聞として作成し、2学期には校内に展示する。環境について知識を深め、環境保護の大切さ、身近な取り組みに眼を開く貴重なセミナーとなった。



創価中学校 那須コース 霧ヶ峰コース



沼原湿原での自然観察を（1年生）

沼原湿原での自然学習、車山高原・八島湿原での自然観察、オルゴール制作体験や牧場体験など自然体験を中心に充実した内容で行うことができた。多くの生徒の感想は、創立者に大きく見守られながら、美しい大自然と接することができたことと、友人と寝食をともにし、友情の輪が、大きく広がったことの喜びでいっぱいであった。各所で、専門家から親しくお話を伺うことができ、生徒自身も強く興味を持つことができたとの声もあり、将来に渡り、大切な環境を守り続けていく人材の教育にも発展するサマーセミナーとなった。今回の体験が今後も生かされ、クラス・学年の中心者として活躍していく大成長の足跡を残した、生徒の頑張りが印象的であった。

7月22日（火）から24日（木）の2泊3日の行程で、創価中学1年生、2年生がサマーセミナーを実施した。学校内ではなかなかできない、豊かな自然と触れ合いながら、そこに生育する動植物や地形、歴史について学ぶと共に、集団生活を通しルールやマナーを身につけることも目的にしている。1年生は25名が参加し、栃木県那須方面で実施した。沼原湿原を散策しての自然観察、牧場体験、那須高原自然の家周辺のハイキングなど植物・自然環境の体験と研究を行った。また2年生は25名が参加して、長野県霧ヶ峰方面で実施した。霧ヶ峰自然保



牧場での乳搾り体験（2年生）



梨に袋つけをする体験を



関西創価中学校 蒜山・鳥取コース

7月22日（火）から24日（木）に、中学1年生のサマーセミナーが行われ、蒜山・鳥取を中心に2泊3日の有意義な研修となった。鳥取研修道場では、地元未来部との交歓会で新たな友情を結び、「蛍セミナー」で、関西学園と蛍の深い歴史を学んだ。雄大な大山を眺望し、創立者が鳥取青年部に詠まれた「大山が見ゆる 見えるよ眼前に 君らの未来の

姿に相似て」のお歌を深く心に刻んだ。蒜山高原では白樺の林と草原の広がる蒜山高原国民休暇村に宿泊した。2日目も快晴の中、鳥取砂丘へ。自然の素晴らしい造形と日本海の絶景に歓声があがる。佐治村では、地元農家の方より梨づくりの話聞いたあと、袋つけを体験した。紙すき体験では色紙やはがきづくりに挑戦した。夜には佐治アストロパークを訪れ、プラネタリウムを観賞し、103cm反射望遠鏡で木星を観察。館内クイズラリーで月やアポロ計画について詳しく学習するなど思い出に残る天文学習となった。最終日は、山田養蜂場にて採蜜実習。指導員の方より「1匹の蜂が40日という短い一生をかけて作り出すハチミツはわずかスプーン1杯分。全ての食べ物は命であることを知ってください」との話に皆真剣に聞き入っていた。自然の中での感動体験に大満足の3日間となった。



山田養蜂場での採蜜体験



創価高等学校 信州コース

7月21日(月)から23日(水)まで、1年生を対象に伝統のサマーセミナーが開催され、今年は新たな開催地として信州方面に行った。結団式から激励をいただき、創立者に見守っていただく中でのスタートとなった。初日は群馬の白根山に。美しいエメラルドグリーンの湯釜と対岸の山並み



森林の整備に取り組み自然の保護に

が素晴らしかった。2日目は高原の空気をいっぱい吸いながら2時間半のトレッキング。高山植物の王様“コマクサ”の群生や、高台からの湿原の景色は忘れられないものとなった。午後には、全員がヘルメットとノコギリをもって森林の整備に取り組んだ。汗まみれ泥まみれになりながらの作業であったが、うっそうとして暗かった森林が、明るく生き生きとした森へと変わっていくのを実感し、皆で大感動した。感謝の思いを込めて創立者に絵はがきをお送りしたところ、とても喜んでくださり「大事にとっておくよ」との御伝言。最後まで創立者に見守られる中、自然と文化を満喫できる楽しくも感動のサマーセミナーとなった。

が素晴らしかった。2日目は高原の空気をいっぱい吸いながら2時間半のトレッキング。高山植物の王様“コマクサ”の群生や、高台からの湿原の景色は忘れられないものとなった。午後には、全員がヘルメットとノコギリをもって森林の整備に取り組んだ。汗まみれ泥まみれになりながらの作業であったが、うっそうとして暗かった森林が、明るく生き生きとした森へと変わっていくのを実感し、皆で大感動した。